

# 令和6年度志木市子宮頸がんHPV単独検診を受診された方へ

**【対象者】** 4月1日時点で30歳から60歳の女性  
 ※30、35、40、45、50、55、60歳の女性には受診券を送付

今回の検診結果で「異常なし」だったとしても、ひどい生理痛や不正出血など気になる症状がある場合は次回の検診を待たずに、医療機関を受診してください。

## HPV検査の結果

### HPV [-]

子宮頸がんの原因ウイルスが認められない

### HPV [+]

子宮頸がんの原因ウイルスに感染している可能性がある

HPV（ヒトパピローマウイルス）は子宮頸がんの原因となるウイルスです。このウイルスは、性的接触により感染し、性交経験のある女性の過半数は、一生に一度は感染すると言われています。ほとんどは、自然免疫で排除されますが、持続的に感染した一部が数年から数十年をかけて前がん病変を経て、がんになることがあります。

## 細胞診の結果

※細胞診はHPV検査時の残りの検体を使用するため、受診をせずに検査が受けられます。(トリアージ精検)

### NILM

(異常なし、腫瘍性の変化なし)

### ASC-US

(正常か異常かの判別困難)

### ASC-H

(前がん病変を否定できない)

### LSIL

(軽い病変の疑い)

### HSIL

(前がん病変の疑い)

### SCC

(扁平上皮がん)

### AGC

(腺異型、腺がん疑い)

### AIS

(上皮内腺がん)

### Adenocarcinoma

(腺がん)

### Other

(その他のがん)

## 次回、市の補助を受けられる検診時期

### 次回は対象年齢(30、35、40、45、50、55、60歳)のときに受診

※受診券が送付されます

今回の検診では異常は認められませんでした。(子宮頸がん検診は無症状でも多くの前がん状態を発見することができます。しかし全ての子宮頸がんを発見することはできないので、出血やおりものなど気になる症状がある場合には、医療機関を受診してください。)

### 1年後(令和7年度)受診

※受診券が送付されます

子宮頸がんの原因であるHPVに感染している可能性があります(多くの場合一過性の感染です)、細胞に異常はありませんでした。  
 1年後に検診を受診してください。

### 精密検査を必ずお受けください

※医療機関から渡された紹介状を持って受診してください

子宮頸部に何らかの異常が起きている可能性があります。より詳細に調べる必要があるため、ただちに精密検査を受診してください。

※精密検査(確定精検): コルポスコープ下  
 狙い組織診



市HP「令和6年度子宮頸がん検診について」  
 (医療機関一覧も、ご覧になれます。)

### 【問合せ】

志木市役所 健康政策課

電話: 048-456-5370(直通)